

協議員から出された意見

第8回協議会

首都圏の交通の現状と課題について

江崎協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> 中央環状、外環、圏央道と周辺道路の交通量変化を見ると既に開通している区間に関しては並行する道路はあまり変化がないか増加している。特に放射する高速道路の増加が著しい。 交通量が増加している原因について国土交通省で調べていただきたい。 <p style="text-align: right;">（江崎協議員）</p>

必要性の有無について

宮良協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> 東京都のTDMについては既存道路容量の回復、自動車利用からの転換、自動車交通の抑制があるが、TDMを行うことでの影響もあるため、その辺の対策を踏まえて実施していく必要がある。 <p style="text-align: right;">（宮良協議員）</p>
意見	<ul style="list-style-type: none"> TDMはPI協議会でなく都議会などで決めることではないのか。外環とは関係ない。 <p style="text-align: right;">（宿澤協議員）</p>
伊勢田協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> 都内の大気汚染の改善にはディーゼル車からの排出ガスの対策が必要。 環状道路が整備されれば大型車交通が減り、大気汚染が改善され、生活道路を通り抜ける車両も減り、生活道路の安全性も向上するのではないかと期待している。 3つの環状道路を整備することでバイパス効果により、慢性的な渋滞を解消する効果があるのではないかと。 <p style="text-align: right;">（伊勢田協議員）</p>

「環境・生活に与える影響」の資料について

伊勢田協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> 「環境・生活に与える影響」の資料は、環境及び生活全般を議論するための題材であり、今後提出する資料を出すための基礎となる図と考えている。 <p style="text-align: right;">（伊勢田協議員）</p>
意見	<ul style="list-style-type: none"> まだ必要性の有無についての議論を十分に尽くしていない。「環境・生活に与える影響」の資料の速やかな取り下げを要求する。 必要性の議論がなされていないのに具体的な資料を出すのはおかしい。たたき台を前提とした議論はしないと約束したはず。PI外環協議会（仮称）準備会での確認内容の精神に相反し、強い怒りを感じる。 <p style="text-align: right;">（渡辺協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下のトンネル化はまだ何の承認も得ていない。今の段階で出すべきじゃないと思う。 「環境・生活に与える影響」の資料を出すのであれば、外環建設に伴うさまざまな問題点を考え得る限り全部網羅した上で出してもらいたい。 <p style="text-align: right;">（新協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「環境・生活に与える影響」の資料と「外環を整備する場合の効果」等の資料は異質であり、「環境・生活に与える影響」の資料はなかったこととして引っ込めていただきたい。 <p style="text-align: right;">（栗林協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で現にいろいろ影響を受けている立場からいうと、「環境・生活に与える影響」の資料があっても構わないのではないかと。 <p style="text-align: right;">（武田協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の順番に検討していくのではないかと思う。撤回するとかしないという性質ではなく、協議員各自がどう使うか考えれば良い。 <p style="text-align: right;">（倉田協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に抗議したが、それ以上の資料が出てきた。外環ありきの形で議論をしようとするやり方はPIではない。今ここで出さなくてはならない資料でもないのだから撤回すべきである。 <p style="text-align: right;">（濱本協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> 出せる資料は最初に出してその上でその日の議論を決めるべき。三鷹の場合はインターチェンジ・ジャンクション付近の影響をどう捉えるかが一番大きなポイントだと考えている。 <p style="text-align: right;">（柴田協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> 外環の通る道を想定して比較していると思う。最初に戻って話し合いをした方がよい。 <p style="text-align: right;">（橋本協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的に絵で描いて欲しいという要望もあり、「環境・生活に与える影響」等も参考にしながら対応することが必要であり、環境に対する資料等も出して、それを見ながら検討することが重要。 <p style="text-align: right;">（水上協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の議論のための一つの資料ということで捉えれば撤回すべきではない。 <p style="text-align: right;">（栗下協議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> トンネル化で固定して意見を問うような資料でなく、高架、堀割方式の資料も一緒に出すべき。 <p style="text-align: right;">（新協議員）</p>

- ・「環境・生活に与える影響」については時期尚早とか意見があるが、もっと資料が欲しいという意見もたくさんあると思う。(秋山協議員)
- ・「環境・生活に与える影響」はいずれ必要な資料であるが、今回は早かったのではないか。(石井協議員)
- ・外環をやるのかやらないのかということから議論したい。外環をやることを前提とした資料が出てくるのはおかしい。(濱本協議員)

資料・議論内容の要望・提案について

意見

- ・NHKで「対話型の公共事業」に関するシンポジウムを放送していたので、協議会で放映して欲しいが時間の関係もあるので何か別な方法を検討して欲しい。(米津協議員)
- ・都市計画審議会の経過についても聞いておきたい。(新協議員)
- ・原点の論議とは何なのかそれぞれが本音を出し合って論議してみてもどうか。
- ・経路調査をとらえたデータでの外環必要論あるいはマイナス論の議論をすべき。(武田協議員)
- ・P I 外環協議会(仮称)設立に向けた確認内容では、必要性の有無から議論することになっており、必要な資料は要求、提案して頂きたい。(成田協議員)
- ・昭和41年に都市計画決定された際、路線が何本があったので、その資料を出すべき。(渡辺協議員)
- ・都市計画決定をしたときの議論された内容、出欠、賛成者、反対者の氏名の資料を出すべき。(濱本協議員)

その他

意見

- ・傍聴者アンケートについて、無記名のものは正式には採用して欲しくない。(米津協議員)
- ・大臣が引用する通過交通の内訳がわからないという回答から、P Iの基礎となる「透明性」「客観性」「公正さ」を高めることが課題である。(江崎協議員)
- ・30人の議論を2時間で行うのはなかなか難しいので、グループに分けて討議することを提案する。(成田協議員)